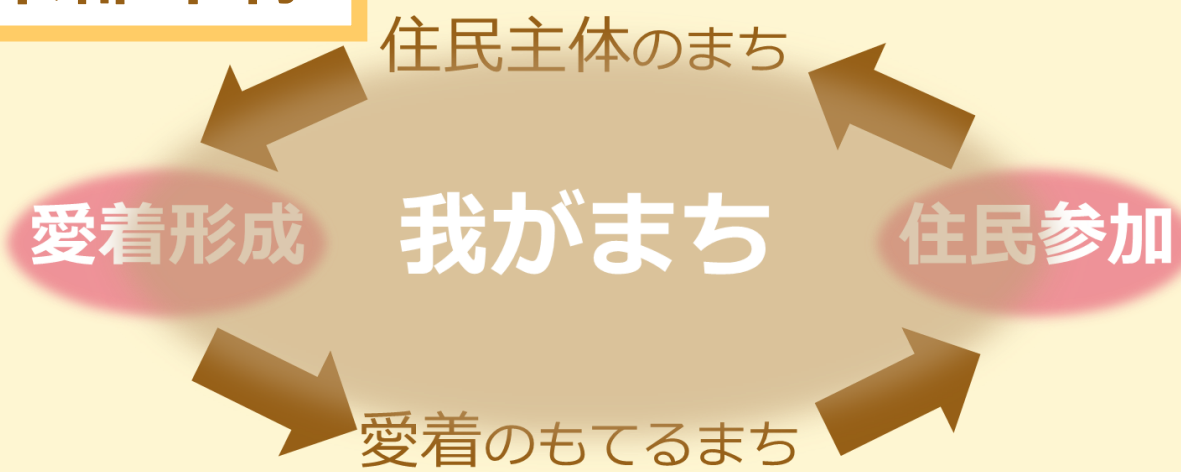


我が 土・浦・街

2016年度
都市計画マスタープラン実習 4班

班長 清田彩夏
副班長 田中皓大
班員 赤平賢人 小原岳輝 二神克也
TA 友成将

将来都市像



本計画において目標とする都市像は、市民が市に対して愛着を持ち、市民が自ら主体的に行政に参加するまちである。我々は、このようなまちを「我がまち」と誇れるまち」と定義し、これを目標都市像と定める。地域への愛着が地域への協力行動に正の影響を及ぼすということは、鈴木ら(2008)により示されており、「愛着を持てるまち」を実現することができれば、「住民主体のまち」につながり、将来的に「我がまち」のサイクルをつくることができる。

愛着を持てるようにするには

愛着形成には、モノを作るだけでなく
「住民同士の交流」を生むこと重要

引地,青木,大淵.“地域に対する愛着の形成機構—物理的環境と社会的環境の影響—”(2009)

愛着形成には、
「地域資源との関わり」が重要

萩原剛,藤井聡.“交通行動が地域愛着に与える影響に関する分析”(2005)

土浦市の現状

愛着度：64.2%(※平成27年度土浦市民満足度調査【概要版】より)



地域資源を活かしていない

地域資源を活かし、愛着形成の拠点づくりを提案

土 構想 ～自然と触れ合い学べる学校～

学校× 農地

廃校に農家の学校を開校

農家×住民×NPO

小学校跡地の利用



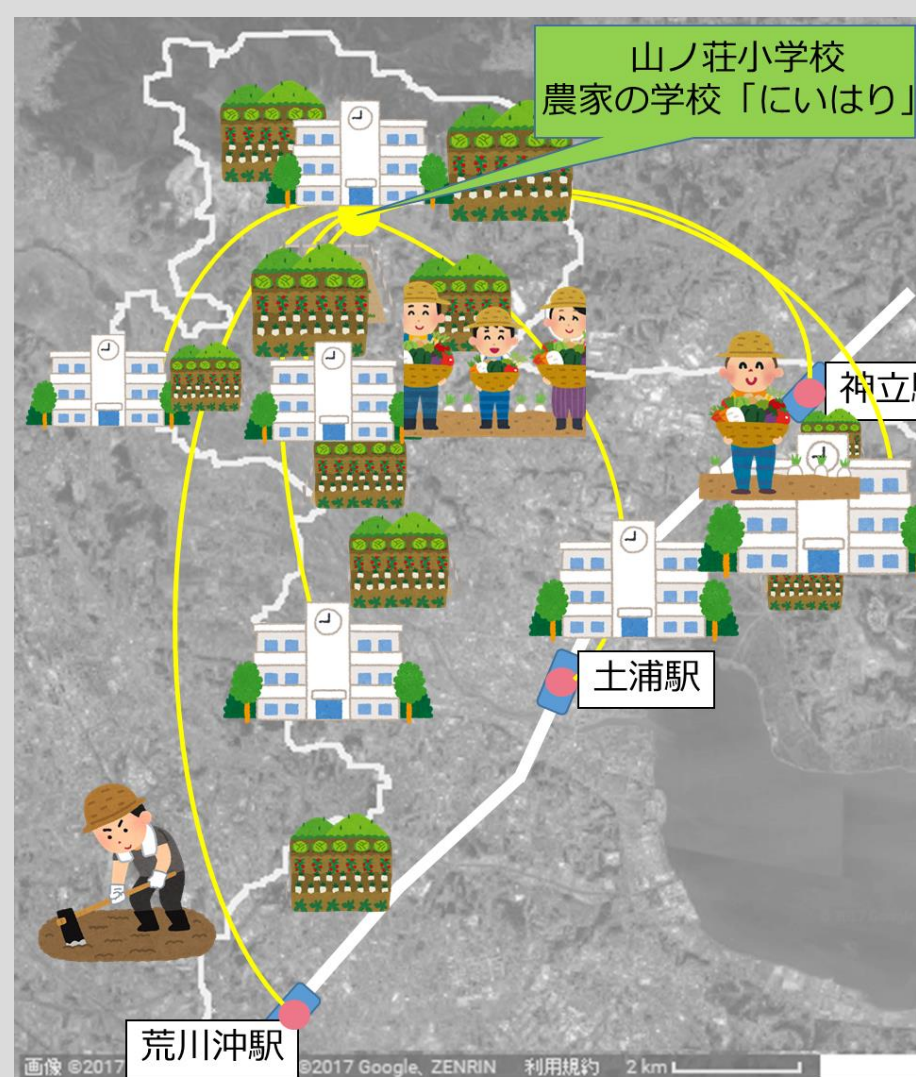
○講義室

○宿泊施設「山の荘」

・校舎内に宿泊設備の整備。

○レストラン&マルシェ開設

・レストラン：畑でとれた野菜や果物を使った食事を提供。
・マルシェ：採れたて野菜の直売所として市民の集う場所に。



愛着形成

・学校での交流
・マルシェでの交流
・農業との触れ合い
・地元野菜を食べる

住民参加

・マルシェへの出店
・講師として活躍
・耕作放棄地の提供
・マルシェで買い物

我がまち

様々な交流や農業との関わりを通じて愛着が形成され、マルシェへの出店や耕作放棄地の提供といった住民参加を促す。こうして「我がまち」への第一歩を踏み出すと同時に、「農家の学校」を起点として農業の活性化を目指す。

「農家の学校」を中心に
農業を活性化

浦 構想 ～“近くて近い”霞ヶ浦～

公園× 霞ヶ浦

湖畔にデッキを整備

○デッキの整備

・霞ヶ浦にせりだす形で整備
・霞ヶ浦沿いの散策スポットに
・イベント会場として利用
・キッチンカーを利用したオープンカフェに

○イベントの開催

・住民が気軽に参加できるようなイベントを誘致する
例:水上ライブ、ピアガーデン
・将来は住民が主催するイベントを開催



愛着形成

・霞ヶ浦との触れ合い
・イベントでの交流
・公園の利用

住民参加

・イベント参加
・水質浄化活動へ参加
・公園の管理
・イベントの企画

我がまち

様々な交流や霞ヶ浦との関わりを通じて愛着が形成され、イベントの参加・企画、水質浄化活動への参加といった住民参加を促す。こうして「我がまち」への第一歩を踏み出すと同時に、「霞ヶ浦総合公園」を起点として“近くて近い”霞ヶ浦を目指す。

「霞ヶ浦総合公園」を中心に
“近くて近い”霞ヶ浦に

街 構想 ～にぎわいで愛着のもてる商店街

商店× 市街地

モール505の1階をリノベーション

○コンセプトカフェ街

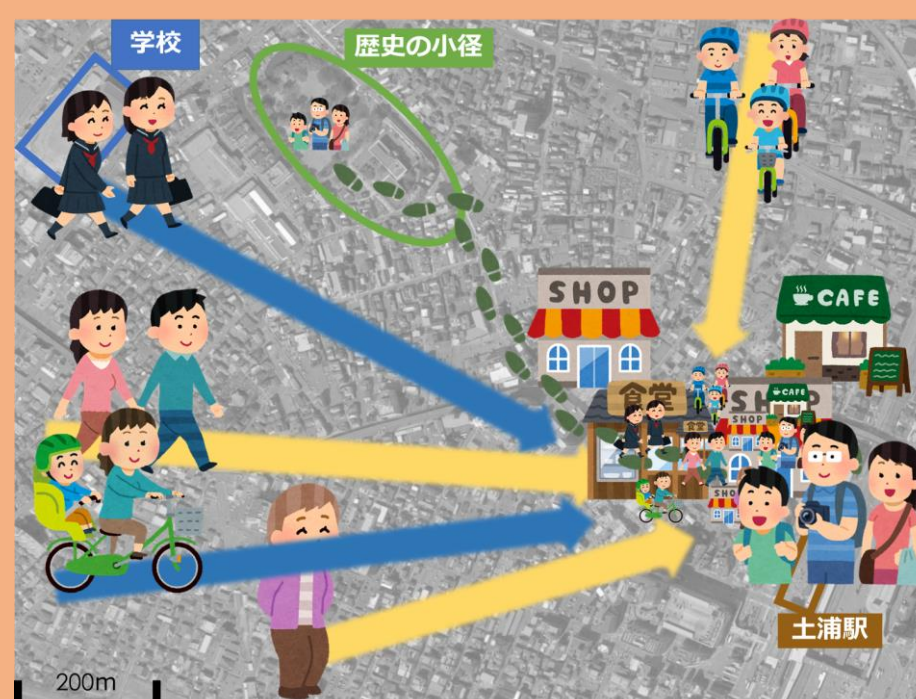
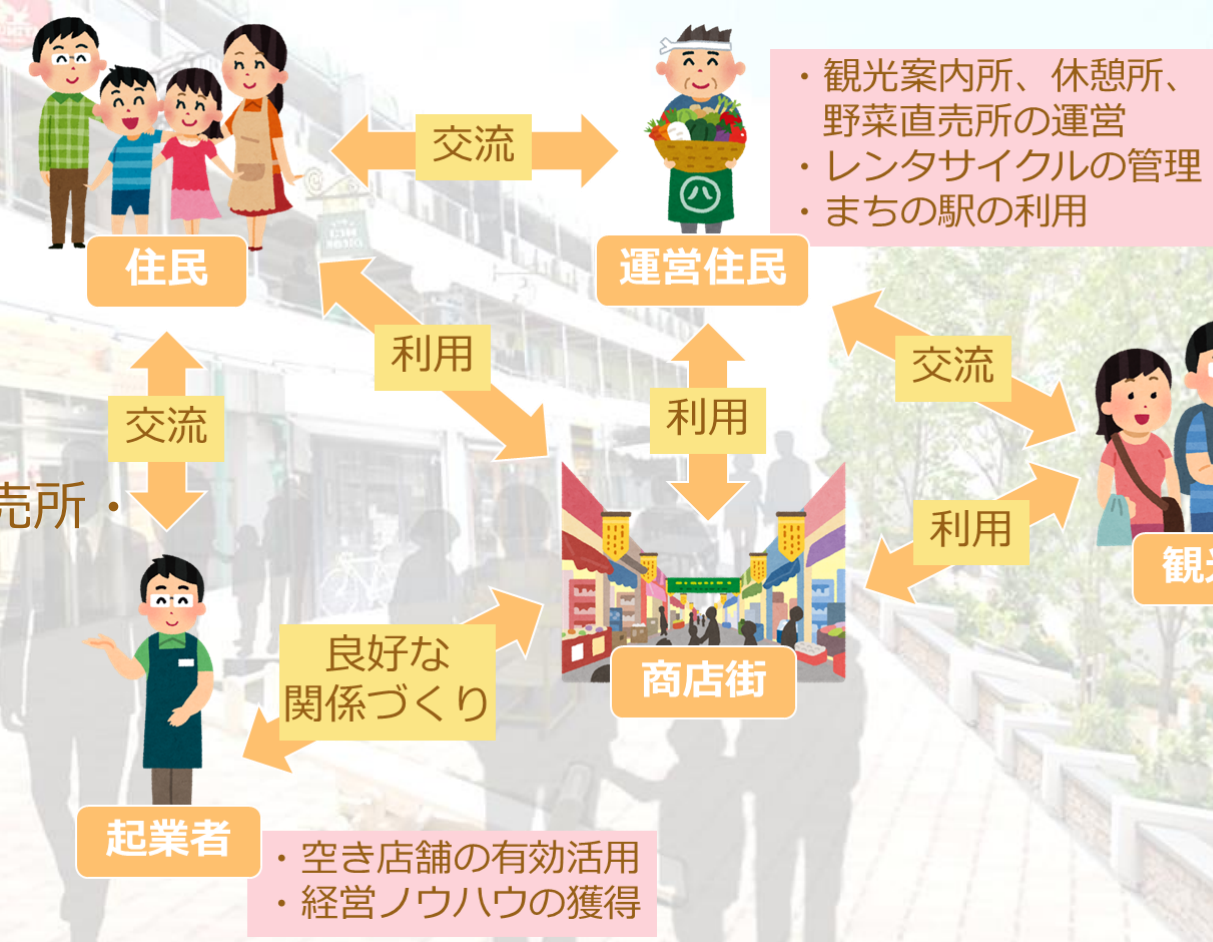
・テクノロジー、自転車、住民営業などの一味違った個性的なカフェ街

○まちの駅

・観光案内所・休憩所・野菜の直売所・レンタサイクルを有する

○お試し店舗

・アフター6、休日だけなど、ライフスタイルに合わせてお試し起業



愛着形成

・よく知っている商店街の再生
・イベントでの交流
・個性的な商店街

住民参加

・イベント参加
・コミュニティカフェ
・商店街の管理
・イベントの企画

我がまち

個性的なコンセプトカフェ街では同じような趣味や興味を持った人と交流することができ、イベントでは様々な人と交流できる。また、よく知っている商店街が個性的な商店街へと生まれ変わり利用されることで愛着が形成され、イベント参加・企画やコミュニティカフェの運営といった住民参加を促す。こうして「我がまち」への第一歩を踏み出すと同時に、「モール505」を起点として市街地の賑わい創出を目指す。

「モール505」を中心に
市街地を活性化